

① 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-93	高等学校	外国語	英語表現 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
104・数研	英 I ・ 333	Revised BIG DIPPER English Expression I		

1. 編修の趣旨及び留意点

本教科書の編修にあたっては、学習者が日常的な話題を通じて人間性や社会性を育むことができ、かつ、基本的な英語の運用能力や、英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる内容・構成となるよう留意した。

2. 編修の基本方針

編修の基本方針として、学習者の生活に即した題材を用いて、英語による基礎的かつ実践的な発信技能を習得させること、またそれによって積極的にコミュニケーションを図り、事実や意見などを多様な観点から考察する姿勢や能力を養うことが可能となるよう留意した。

1. 題材は、学習者に親しみやすく、かつ学習者の生きる力を育成する内容豊かなものを採用した。
2. 言語材料に関しては、中学校との連携を考慮して基本事項の定着を重視するとともに、その基礎を活用してさらに英語表現の能力を伸ばすことが可能となるように選定した。
3. 「書く」「話す」の生産的2技能を中心に育成する目的において、「読む」「聞く」の受容的2技能とも有機的に関連させる演習を随所に設け、学習者が幅広い言語活動に取り組むことができ、かつ積極的に授業に参加できるように配慮した。

上述した内容・構成によって、学習者が多様な知識と教養を身につけ、主体的に社会の形成に参画し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
見返し Classroom English	<p>教室で用いる基礎的な英語表現を身につけさせる。(第1号)</p> <p>相互の意見や関係性を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(第3号)</p> <p>平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)</p>	<p>前見返し I ・ II 後見返し IV ・ V</p> <p>写真全般</p>

<p>PART 1 Basic Rules for English Expressions</p>	<p>英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)</p> <p>自己表現活動を通じて、創造性・自主性を養う。(第2号)</p> <p>平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)</p> <p>日本語と英語の表現形式の差異を通じて、双方の持つ言語的な文化への理解を深める。(第5号)</p> <p>コミュニケーション・ツールとしての英語の重要性を再認識させる。(第5号)</p> <p>自分の町を紹介する活動を通じて、自己を育ててくれた社会に対する認識を深める。(第5号)</p> <p>日本と他国を比較することで、その文化などに対する理解や互いを尊重する態度を養う。(第5号)</p>	<p>5~76 ページ</p> <p>Listening & Expression (15,17 ページほか)</p> <p>Express Yourself! (24~25 ページほか)</p> <p>写真・イラスト全般</p> <p>はじめに (6~11 ページ)</p> <p>55 ページ 1~4 行</p> <p>69 ページ 11~21, 29~30 行</p> <p>69 ページ 23~25 行</p>
<p>付表 Words & Phrases</p>	<p>身の回りの事柄に関する語彙を増やし、さまざまな話題について英語で表現する能力を養う。(第1号)</p> <p>環境問題に関する語彙を習得させることで、当該の問題に関する意識を高める。(第4号)</p>	<p>77~82 ページ</p> <p>82 ページ</p>
<p>PART 2 Communicative Functions of English Expressions</p>	<p>言語の働き(機能)を念頭におき、様々な場面で相手の存在を意識して、より効果的なコミュニケーションを図る力を培う。(第1号)</p> <p>発展的な表現活動を行うことにより、自律性を培う。(第2号)</p> <p>実生活での職業機会に触れる題材を扱い、職業に対する意識付けを行う。(第2号)</p> <p>対話において、自他の敬愛と協力を重んじる場面を多く設けた。(第3号)</p> <p>家庭内の労働も含め、社会への参画を意識させる題材を採用した。(第3号)</p> <p>平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)</p> <p>環境に優しい町の取り組みや資源の節約を主題にした教材により、環境保全に寄与する姿勢を養う。(第4号)</p> <p>自分の町を紹介する活動を通じて、自己を育ててくれた社会に対する認識を深める。(第5号)</p> <p>日本と他国、自分と他国の人々との関わりにおいて、国際社会の一員である自覚を促す。(第5号)</p>	<p>83~129 ページ</p> <p>Further Activities (85,87 ページほか)</p> <p>112~113, 124~125 ページ</p> <p>Dialog (85,87 ページほか)</p> <p>96~97, 112~113, 124~125 ページ</p> <p>写真・イラスト全般</p> <p>106~107, 122~123 ページ</p> <p>107 ページ 21~24 行</p> <p>108~111, 128~129 ページ</p>
<p>後付 Useful Expressions</p>	<p>英語で表現するための基本的な知識を、反復練習により定着させる。(第1号)</p>	<p>130~136 ページ</p>

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

I. 教科書の特徴

A. 学習しやすい パート別 / 見開き 2 ページ 構成

1. パート別構成

PART 1 で「英文構成の基本ルール [文法]」を、PART 2 で「言語の働き [機能]」* を習得します。いずれも表現活動に繋げる点を重視した構成となっています。

* 「言語の働き [機能]」とは、「勧誘する」「依頼する」などのことばの働きのことで、これを理解することで、自分が伝えたい内容を的確に表現することが可能となります。例えば、Can you play the violin? [質問] / Can you lend me your bike? [依頼] のように、同じ “Can you ~?” という疑問文でも「言語の働き」は異なります。

2. 見開き 2 ページ構成

見開き 2 ページの小ユニットで 1 レッスンが完結するので、テンポよく学習を進めることができます。各レッスン内で、INPUT (簡明な解説・用例) ~INTAKE (ドリル・練習問題) ~OUTPUT (自己表現活動) の流れをもった、豊富な学習内容を扱っています。

B. 理解しやすい パラグラフ・ライティング などのコラム

パラグラフ・ライティング、プレゼンテーションといった、比較的高度な言語活動も、各パートのコラムにおいて無理なく学習することができます。

II. 各課の構成

A. 正課：表現形式の習得・練習と自己表現活動がバランスよくできる内容としました。

1. PART 1：英語で正しく表現するための基本的なルールの習得に主眼を置きました。

- a) 左ページ：各課で学習すべきポイントを含む基本例文に、簡単な解説を加え、確認のためのドリル (基本問題) を設けました。
- b) 右ページ：学習事項を定着させる練習問題を掲載しました。「コミュニケーションを支えるもの」としての文法の役割を重視し、各問題には、当該の文法事項を必要とする文脈を極力与えるように配慮しました。次のような絵 [状況] を見て表現する問題や、リスニング問題など、多彩な演習を取り入れています。

1 Complete the sentences. Use “can,” “can’t,” “be able to,” or “may.” [→ A]



- (1) Jack _____ very fast.
(2) Jill _____ the math problem.
(3) Peter will _____ a unicycle soon.
(4) _____ I _____ my smartphone here? — Sure.

(Hint) [swim, solve, ride, use]

[図などは実際にはカラー印刷となります (以下同)]

★PART 1 の L.1～3 は「はじめに」として、英語と日本語の表現の違いなど、「基礎の基礎」を学ぶレッスンになっています。L.1「英文での主語の明示」〔下例〕, L.2「動詞の意味（日本語との対応）」, L.3「基本的な名詞・冠詞の用法」などを扱っています。

A 「かぎを落としましたよ」

You dropped the key.

POINT 日本語では、主語（「～は」、「～が」にあたる語）が省略されることがよくあるので、それを補って考えるようにしましょう。

- | | |
|-------------------|---|
| ① 昨日この本を買いました。 | I bought this book yesterday. |
| ② カーター先生に会いましたか。 | Did <u>you</u> meet Ms. Carter? |
| ③ この花を英語で何と言いますか。 | What do <u>you</u> call this flower in English? |
| ④ 当店では時計を売っています。 | <u>We</u> sell watches and clocks here. |

2. PART 2：言語の働き（機能）を意識した、より効果的なコミュニケーションを図る力を育成することに重点を置きました。

- a) 左ページ：学習内容についてリスニング問題によって導入し、各課で学ぶべき機能的な表現を substitution drill によって定着させます。
- b) 右ページ：機能表現を含む Dialog によりディクテーション・ロールプレイングなどを行い、簡単な自己表現練習（Make your own sentences!）を経た後に、Further Activities（下記）でやや発展的なコミュニケーション活動を行います。

Further Activities

Look at the pictures and make dialogs in pairs.

Situation Two students are talking about the menu of the school cafeteria.



a kitsune udon ¥300



b a hamburger steak set ¥450



c spaghetti with meat sauce ¥420

- Ex.) A: What do you suggest?
 B: How about ① the fried chicken set?
 ② It's delicious and filling.
 A: OK, I'll try it. How much is it?
 B: It's ③ 400 yen.

Hint ①お勧めの品
 ②勧める理由など：come right away 「すぐに出てくる」、healthy 「健康的である」、well-balanced 「栄養バランスがよい」
 ③値段：inexpensive 「手ごろな値段の」などを述べてみよう。

B. 補充演習・コラムなど

- 概ね本課 4 レッスンごとに、Review Exercises（復習問題）や、Express Yourself!（自己表現活動）・Writing（email などの自由英作文）といった、学習事項をさらに深化・発展させるページを用意しています。
- コラムとして、PART 1 では文章（パラグラフ）作成、PART 2 では発表（プレゼンテーション）といった、比較的高度な言語活動について、それぞれ留意点をまとめました。
- 前後見返しでは“Classroom English”として、授業での使用が想定される基本的な英語表現をまとめました。また、各課の問題演習に関しては、できる限り指示文を英語で表記しています。これらにより、英語による授業が進めやすくなるよう工夫しました。

◆教材配当表 <B5判・136ページ・4色>

PART 1：文法シラバス

PART 2：機能シラバス

課	タイトル	学習事項	課	タイトル	学習事項
1	はじめに①	「だれが」「～する」をはっきりと	1	School Life	勧誘する, 提案する
2	はじめに②	動詞をうまく使おう	2	School Subjects	依頼する, 理由を聞く・述べる
3	はじめに③	名詞の数などに気をつけよう	3	Free Time	確認する, 訂正する
4	My Friends	肯定文・否定文／疑問文	4	Feeling Well?	心配する, 助言する
5	My Family	現在・過去／進行形	C1	情報・考えをまとめてみよう!	
6	Pastime	未来表現	5	Housework	義務・必要を述べる
7	My Town	現在完了／過去完了	6	The Internet Is Fun	期待・確信を述べる
C1	辞書を活用しよう!		7	I've Lost Your Book	謝罪する, 謝罪に応じる
8	Our Teachers	助動詞①	8	Planning a Trip	計画する, 予定する
9	Visiting a Museum	助動詞②	C2	発表の仕方や表現を工夫しよう!	
10	Famous People	文型	9	Experiences Abroad	感想を尋ねる・述べる
11	Reading	受け身	10	Exchange Students	程度・結果を述べる
C2	短い文章を書いてみよう!		11	I Want to Be a ...	願望・目的を述べる
12	Studying Abroad	不定詞①	12	Cheer Up Your Friend	同情する, 励ます
13	Advice	不定詞②	C3	情報・考えを整理して発表しよう!	
14	Hobbies	動名詞	13	Farewell Party	感謝する, 喜ぶ
15	My Vacation	分詞	14	Saving Resources	賛成する, 反対する
C3	文のつながりを示す語句を使おう①		15	Social Problems	意見を尋ねる・述べる
16	In a Zoo	比較①	C4	発表を聞いて, 自分の考えをまとめてみよう!	
17	Our Team	比較②	* C…コラム [主に以下の内容] PART 1: パラグラフ・ライティング PART 2: プレゼンテーション * 概ね4課ごとに, Review Exercises (復習問題), Express Yourself! (PART 1, 自己表現活動), Writing (PART 2, 自由英作文など) を掲載. * その他, 授業での発話集 Classroom English [前・後見返し], 不規則動詞活用表 [p.13], 身近な語彙を集めた Words & Phrases [pp.77-82], 主要表現の定着を図る Useful Expressions [pp.130-136] を収録.		
18	Neighbors	関係詞①			
19	Speeches	関係詞②			
C4	文のつながりを示す語句を使おう②				
20	My Wish	仮定法			
21	A Birthday Gift	接続詞			
C5	書いた内容を読み返し, 書き直そう				

① 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-93	高等学校	外国語	英語表現 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
104・数研	英 I ・ 333	Revised BIG DIPPER English Expression I		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- A. 題材は、学習者の人間として調和のとれた成育に寄与するもので、学習者の実生活に即応したバラエティに富んだ内容（言語材料、言語使用の状況など）を取り揃えた。
- B. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するため、問題演習の指示文は極力英語を用いた（ただし、英文構成の解説などは、基礎力の定着を図るものとして、適宜日本語を使用した）。また、生徒が実際に言語活動を行いやすいように、具体的な指示・モデルパターンを掲載した。
- C. 事実や意見などについて、多様な観点からの考察や、表現上の工夫がなされるように、学習者間の相互交流を意識した言語活動を多く設け、学習者中心の授業展開が可能となるように構成した。

II. 教科書の構成 ※教科書の概要は「編修趣意書（教育基本法との対照表）」をご参照ください。

A. PART 1 : Basic Rules for English Expressions [文法シラバス]

Lesson 9 Visiting a Museum

① **A** 「～するとよい」「～しなければならない」「～してはいけない」 助動詞 should / must

① You **should** go to this exhibition. ▶ この展覧会に行くといいよ。
 ② You **must** see these pictures. ▶ これらの絵は見ておかないといけないよ。
 ③ You **mustn't** miss this chance. ▶ この機会を逃してはいけないよ。

POINT 「～するとよい、～すべきである」は should を、「～しなければならない」は must を用いて表します。must のほうが、should よりも意味が強くなります。また、must not[mustn't] は「～してはいけない」(禁止)を表します。
 ▶ 「～しなければならない」は (have to) を用いて表すこともできます。
 We had to visit him yesterday. [過去を表す場合は×must]
 Students **don't have to** wear uniforms today. [～なくてもよい(不必要)]

② **DRILL A** () 内に適切な 1 語を入れてみよう。
 (1) This movie is good. You () see it. [～すべきだ]
 (2) Students () break the school rules. [～してはいけない]
 (3) You () () be quiet. Her baby is sleeping. [～しなければならない]

B 「～だっただけに」「～すべきだったのに」など 助動詞 have + 過去分詞

④ Tom **may have arrived** there early. ▶ トムはそこに早く着いたのかもしれない。
 ⑤ He **must have enjoyed** the exhibition. ▶ 彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。
 ⑥ We **should have visited** it last week. ▶ 私たちは先週そこを訪れるべきだった。

POINT 過去のことについて、「～だっただけに」「～すべきだったのに」と推察する場合は (must/may) have + 過去分詞) で表します。また、(should + have + 過去分詞) は、「～すべきだったのに」と過去のことについての後悔などを表します。
 ▶ (can't/cannot + have + 過去分詞) は、「～したはずがない」の意味を表します。
 Sam was with us last night. You **cannot have seen** him at the station then.

DRILL B 日本語に合うように、(助動詞 + have + 過去分詞) を使って表現してみよう。
 (1) Saya looked sick yesterday. She _____ a fever. (熱があったかもしれない)
 (2) The drama was interesting. You _____ it. (見るとよかったのに)
 (3) Jim didn't answer the phone. He _____ sleeping. (寝ていたにちがいない)

Can-do! □ ②③ should, must や(助動詞 + have + 過去分詞)の形を使うことができる。
 ■ ④ 必要・義務や、過去についての推察・後悔などを英語で表現できる。

EXERCISES

③ **1** Choose the suitable one. [→ ③]

(1) We are very tired, so we (should / shouldn't) take a rest.
 (2) The bus is coming. You (must / shouldn't) hurry.
 (3) You (mustn't / don't have to) get up now. You can sleep until eight.
 (4) You (mustn't / don't have to) touch any of the artwork in the museum.
 (5) I (must / had to) go to the dentist yesterday because I had a toothache.

2 Look at the pictures and fill in the blanks. [→ ③]

(1) (2) (3) (4) (5) (6)

(1) Bob hasn't arrived yet. He () () () the bus.
 (2) I () () () more before the concert.
 (3) The road is wet. It () () () last night.
 (4) Mika () () () there. She doesn't have a license.
 (Hint) [miss / practice / rain / drive]

Try! Express the following in English. [→ ④]

(1) A: 明日は6時30分に出発しなければならんだ。 [→ ④⑤]
 B: 今晩は早く寝るとよいでしょう。 [→ ④⑤]
 (2) A: タカシは1人で家に帰ったのかもしれない。 [→ ④⑤]
 B: 解散する前に点呼をとるべきだったわね。 [→ ④⑤]
 (Hint) (1) 今晩 tonight (2) 1人で alone; 解散する break up; 点呼をとる take the roll

Listening & Expression

⑤ **7** Listen to the dialogs and fill in the blanks.

(1) Junko () () take the books out of Mr. Howard's room.
 (2) The boy may () () his wallet at the cafe.

8 (1) 友だちがあなたのお気に入りのものを盗めてみよう。 [→ ④⑤]
 You should _____ . It's excellent.
 (2) あなたが後悔していることについて述べてみよう。 [→ ④⑤]
 I should have _____ .

① 基本例文・POINT <INPUT>

各課で学ぶべきポイントを含んだ基本的な例文に、簡単な解説を添えています。基本例文には各課で緩やかなストーリー性をもたせています。

② DRILL <INTAKE>

各々の文法事項に対して、確認のための基本問題を設け、ポイントの定着を促します。

③ EXERCISES <INTAKE>

大問単位で左ページの各項目に対応した問題演習（項目対応型大問）となっています。単なる文法問題だけではなく、絵や文脈から適切な表現を考えさせる問題を取り入れています。

④ TRY! <OUTPUT>

実際のコミュニケーションを想定した完全英作文で1文を作る能力を養います。

⑤ Listening & Expression <OUTPUT>

ポイントとなる文法事項を用いて、音声の内容について表現するリスニング問題と、簡単な自己表現活動の場を設けています。

B. PART 2 : Communicative Functions of English Expressions [機能シラバス]

Lesson

5

Housework

① 義務・必要を述べる




Can-do! 英語で義務・必要を述べるができる。 家事について英語で表現できる。

助動詞 (have to, need to, be supposed to) 不定詞 (need to~, be supposed to~) などを適切に使える。

① Starter

Listen to the dialog and choose the correct answer to each question.

1 Why did Mark come home early?
 (1) He was going to go out.
 (2) He had a lot of homework to do.
 (3) He wanted to help his mother.

2 How is Mark going to help his mother?
 (1)  (2)  (3) 

3 What does Mark think about tonight's dinner?
 (1) He isn't sure about it. (2) He thinks he'll love it. (3) He wants to cook it.

② Expressions Practice the following dialogs.

1 A: You need to come back by five.
 fill out the form (用紙に記入する)
 prepare a short speech (短いスピーチを準備する)
 get up at 6:00 (6時に起きる)
 B: All right. I can do that. B: わかりました。だいじょうぶです。

2 A: Do I have to water the plants now?
 pay the fee (料金を支払う)
 give you an answer (あなたに答える)
 talk to the teacher (先生と話す)
 B: No, you don't have to. B: いや、その必要はないです。

3 A: I'm supposed to clean my room.
 do the laundry (洗濯をする)
 walk the dog (イスを散歩させる)
 wash the car (車を洗う)
 B: I see. B: わかりました。

Dialog Jack is talking to Rina in their classroom.

Listen to the dialog and fill in the blanks.
 Then play the roles of Jack and Rina in pairs.

J: In Japan, I don't () () do housework. My () parents do everything for me, but actually, I'd like to help out around the house.
 R: In New Zealand, were you expected to help with the housework?
 J: Yes. I was () to help with the dishes, the laundry, the grocery shopping, and () ().
 R: I think you () to talk to your host parents. I'm sure they'll () your help if you ask them.
 J: You're probably (). I'll talk to them.


Make your own sentences! → Words & Phrases p.78(家事)

Express what you have to do or don't have to do.
 (1) I have to _____ today.
 (2) I don't have to _____ in the morning.
 (3) I'm supposed to _____ by tomorrow.

Further Activities

1 How often do you do the household chores listed in the table below? Write the following marks in the second column.
 [always...○, often...□, sometimes...△, rarely...▲, never...×]

2 Ask your friends about the same matter and fill in the rest of the table.
 Ex.) How often do you vacuum the floor? — I do it very often.

Household Chores	① You		② Your Friends		
			[Name]	[Name]	[Name]
① vacuum the floor					
② do the laundry					
③ cook meals					
④ do the dishes					
⑤ take out the garbage					

① Starter <WARM-UP>

各課で学習する内容（話題）の導入となる簡単なリスニング問題です。音声内容をイメージとして把握できているかを確認する、図表・写真を選択させる設問もあります。

② Expressions <INPUT>

機能や場面に応じた表現を、substitution drillによって練習します。

③ Dialog <INTAKE>

dictationによって、各課で学ぶポイントや、その他の重要表現・語彙を定着させます。また、role playによって、コミュニケーションを図る場合の発声練習を行います。

④ Make your own sentences! <OUTPUT>

簡単な自己表現活動により、ポイントとなる表現を活用させます。

⑤ Further Activities <OUTPUT>

各課で学習した表現や話題に関して、応用的な言語活動により、実生活での活用事例につなげていき、英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。

C. 補充演習・コラムなど：概ね本課4レッスンごとに、以下のコーナーを設けています。

1. Review Exercises [PART 1]

文法事項の確認と、一層の定着を促すための問題演習のページです。各回約40問の復習問題によって、ポイントの確認とより一層の定着を図ることができます。

Review Exercises ③ Lessons 8-11

① Choose the suitable one. [->L. ③]

- Mom. (can / must) I use your computer this evening?
— Sure. I'm not going to use it.
- This (can't / must) be Hiroshi's baseball glove. It has his initials on it.
- (Can / May) you come to the farewell party for Ruth next Sunday?
- You (can / will be able to) play the piano better after you finish these lessons.
- We've been waiting for Yuri for an hour. She (may / must) not come today.
- Mr. Shinohara looks very young. He (can't / mustn't) be over forty.
- I (was able to / had to) finish the math assignment quickly because Yoshio helped me.

② Choose the suitable one. [->L. ③]

- You (should / would) be quiet in this room. You can talk out in the hall.
- I want to study abroad, so I (must / mustn't) study English hard.
- Students (must / mustn't) walk on the grass. It's still very young.
- I (must / had to) clean the classroom yesterday. — It probably took you a long time.
- Must I attend the meeting tomorrow? — No, you (don't have to / mustn't).
- You are going to go swimming tomorrow, so you (should / shouldn't) finish your homework today.
- Kaori's umbrella is here. She (must have / can't have) taken mine.
- I can't find my wallet in my bag. I (should have / may have) left it at home.
- The party was a lot of fun. You (must have / should have) come.
- Kenji (can't have / must have) told a lie. He is an honest boy.

③ Put the words in the right order. [->L. ③]

- Could you (the way, me, the museum, show, to)?
- Since my name is Takashi, (Taka-chan, call, they, me).
- I'll (a, send, book, you, on) Japanese food soon.

- You (computer graphics, a lot, know, about).

I think you can be a computer game designer.

- We (garden, grow, in, flowers, our).
(sweet, our, smell, very, roses) in May.
- I (a folding fan, bought, my father) for Father's Day.
- (Mary, Kenta, his handkerchief, gave) because she was crying.
- Miyuki is an excellent photographer. (an album, of, she, us, made) her favorite photos.



④ Use the passive* of the verbs in brackets and complete the sentences.

(*受け身) [->L. ③]

- Soccer () () all over the world now. [play]
- Smoking is () () in these public places. [not allow]
- These packages () () two weeks ago. [receive]
- Have you ever () () to a wedding? [invite]
- My father's computer is now () (). [repair]
- This door must () () during the night. [lock]
- The hockey player is very famous. His name () () () everybody in this country. [know]
- It's been snowing and our garden () () () snow. [cover]
- Karen may () () () her science score. [satisfy]
- We () () () his performance. It was fantastic. [surprise]

⑤ Use the words in brackets and complete the sentences. [総合問題]

Ex.) I _____ tomorrow. [should]

→ I should go to the hospital tomorrow.

- You _____ in this park. [can]
- I _____ at my school. [have to ~]
- Saki won the race. She _____. [must have ~]
- I'll _____. [give you]
- I have a best friend. I _____. [call]
- How _____? [be made]

36

37

2. Express Yourself! [PART 1]

各課で学習したポイントを用いて、自己表現活動を行います。活動しやすいように、解答例を挙げる、段階的な質問を設けるなどしています。

④ Lesson 11 Reading

POINT: 受け身

① Answer the following questions. (次の質問に答えなさい。)

- What is your favorite book? — It is _____.
- Who wrote the book? — It was written by _____.

② Recommend the book to your friend.

(その本を友だちに勧めよう。)

Ex.) I recommend *Harry Potter and the Philosopher's Stone*. It was written by J. K. Rowling. I read the book when I was ten. I was moved by the bravery of Harry and his friends.

⇒ Words & Phrases p.80 [本・映画・テレビ]

*How do you say it? [語彙確認問題] では、意味が似ている動詞・形容詞・副詞・名詞や、日常よく使う表現などを、適語選択・空所補充の形式で確認することができます。

3. Review Exercises [PART 2]

機能表現を復習・定着させるための問題演習（約 20 問）と、email や手紙などを題材に、30～50 語のまとまった文章を書かせる練習を行います。Writing（下例）では活動しやすいように、モデルとなる文章やヒントなどを提示しています。

Writing

① School Life [→L.1]

→ Words & Phrases p.77 [学校行事]

▶ Write an email to invite a foreign student to an event such as Field Day or the School Festival. (体育祭や文化祭などの行事を見に来るように、留学生を誘う Eメールを書いてみよう.)

Ex.)	To: Paul
Subject:	We have Field Day next Sunday. (Kana)
Hello, Paul. How are you? My school is going to have Field Day next Sunday. We always have many kinds of races, and it is a lot of fun to watch. Would you like to come? I'm sure you will enjoy it!	
Kana	

4. Column [PART 1,2]

PART 1 では文章（パラグラフ）の作成について、PART 2 では発表（プレゼンテーション）について、それぞれ留意点をまとめました。一連の内容をもっているため、本課で扱う基本事項への習熟が進んだ時点で、コラムのみをまとめて学習することも可能です。

◆上記によって、本課の学習からさらに表現能力を高めるように工夫されています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	箇所	配当 時数
見返し Classroom English	内容 (1) ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すこと。	前見返し I・II 後見返し IV・V	—
PART 1 Basic Rules for English Expressions	内容 (1) ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 イ 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりや示す語句などに注意しながら書くこと。また、書いた内容を読み返すこと。 エ 聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えをまとめたりすること。	内容 (1) ア Listening & Expression (15,17 ページほか) イ DRILL (14,16 ページほか) EXERCISES (15,17 ページほか) Review Exercises (22~23 ページほか) Express Yourself! (24~25 ページほか) Column (26~27 ページほか) (2) イ Column (54~55, 68~69, 76 ページ)	41

	<p>内容の取扱い</p> <p>(2) 聞くこと及び読むこととも有機的に関連付けた活動を行うことにより、話すこと及び書くことの指導の効果を高めるよう工夫するものとする。</p>	<p>内容 (2) エ</p> <p>Column (69 ページ)</p> <p>内容の取扱い(2)</p> <p>Listening & Expression (15,17 ページほか)</p>	
付表 Words & Phrases	<p>内容の取扱い</p> <p>(1) 中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを伝える能力の向上を図るよう指導するものとする。</p>	77～82 ページ	—
PART 2 Communicative Functions of English Expressions	<p>内容</p> <p>(1) ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</p> <p>イ 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。</p> <p>(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すこと。</p> <p>ウ 発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し、実際に活用すること。</p> <p>エ 聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えをまとめたりすること。</p> <p>内容の取扱い</p> <p>(2) 聞くこと及び読むこととも有機的に関連付けた活動を行うことにより、話すこと及び書くことの指導の効果を高めるよう工夫するものとする。</p> <p>(3) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。</p>	<p>内容 (1) ア</p> <p>Make your own sentences! / Further Activities (85,87 ページほか)</p> <p>イ</p> <p>Review Exercises (92 ページほか)</p> <p>Writing (93 ページほか)</p> <p>ウ</p> <p>Column (94～95 ページほか)</p> <p>(2) ア</p> <p>Dialog (85,87 ページほか)</p> <p>ウ</p> <p>Column (94～95 ページほか)</p> <p>エ</p> <p>Column (128～129 ページほか)</p> <p>内容の取扱い (2)</p> <p>Starter (84,86 ページほか)</p> <p>(3)</p> <p>Dialog (85,87 ページほか)</p>	27
後付 Useful Expressions	<p>内容</p> <p>(1) イ 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。</p> <p>内容の取扱い</p> <p>(3) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。</p>	130～136 ページ	2
		計	70

※配当時間は、正課・コラム等各1時間として計算（考査・発表等含む）。